



東京大学教養学部創立70周年記念



JASID (国際開発学会) & JAHSS (人間の安全保障学会) 2019 共催大会

難民／移民と教育／就労 — 人間の安全保障の確保を目指して

イベント出展・広告掲載のご案内

2019年11月16日 (土) / 11月17日 (日)
東京大学 駒場Iキャンパス 21KOMCEE



目次

共催大会について	・・・ 1
<u>イベント出展・広告掲載のご案内</u>	・・・ 5
1. イベント出展のご案内	・・・ 6
2. 研究発表要旨集への広告掲載	・・・ 13
3. ウェブサイトへの広告掲載	・・・ 17
スポンサー参加全般規定（イベント出展・広告）	・・・ 20
参考データ	・・・ 21
問い合わせ先・広告原稿入稿先	・・・ 22

共催大会について

共催大会概要 (1)

JASID (国際開発学会) & JAHSS (人間の安全保障学会) 2019 共催大会

難民／移民と教育／就労 — 人間の安全保障の確保を目指して

日程: 2019年11月16(土)・17日(日)

会場: 東京大学 駒場 I キャンパス、21KOMCEEなど

共通テーマ: 「難民・移民と教育・就労」

東京大学教養学部創立70周年記念
国際開発学会 (JASID) 第30回大会
「人間の安全保障」プログラム (HSP) 設立15周年

国内外の著名教授・専門家などの講演を多数実施します

各国の研究者や学生、実務経験者が来場します

想定参加者数 : 約600名 (二日間で延べ1,200名)

参加者の属性: 大学等の教育機関の研究者・学生 70%
実務経験者 30% (想定)

共催大会概要 (2)

(参考) 来場者向け案内文

GCRとGCMが2018年12月に国連総会で採択された。UNDPの1994年HDRでのHS概念の提起から25年、HSは2015年のSDGsとして目標化された。「誰も取り残さない」というSDGsの理念を基に、GCR/MIはグローバル化の進展による「脆弱な人々の」安全保障のための、新たなグローバルガバナンスを提起している。本大会は、主権国家体制において特に取り残されがちな、難民(IDPや被災者を含む広い概念)／移民(国連の定義をベースにした広義)に焦点を当てて、その自立／自律のための鍵となる教育との関係に焦点を当てる。同時に、その社会統合が課題とされる受け入れ社会、とりわけ、少子高齢化で人口減少に歯止めのかからない日本の閉鎖的な社会が、持続性を取り戻すための多様性を尊重する包括的教育という側面にも光をあてる。

この両側面の不可分的相関関係を軸に、多文化共生の鍵となる教育の課題と可能性を研究と実践から探究する。そのためのマルチ・ステークス・ホルダー(とりわけ大学)の責任と可能性を中心に議論する。グローバル、リージョナル、ローカルの視点からの議論を歓迎し、今後のHSと開発にかかる研究と教育の発展を展望する。

なお、国際開発学会は、今回第30回目の大会、開催校の中核となる「人間の安全保障」プログラム(HSP)設立15周年という節目を記念する大会として共催をする。

日本、アジア、グローバルでの課題である、難民、移民に関する研究、教育と実践に好循環を促進する。とりわけ、日本では、留学生などの滞在資格を使った実質上の難民受け入れが始まり、また外国人労働者受け入れ拡大が、本年4月から予定されている。日本の大学同士、またアジアと世界の大学などの教育機関と情報交換などしながら連携し、人間の安全保障の観点から、難民、移民の受け皿として機能するように、「難民／移民」研究教育大学間のコンソーシアム(仮名)の設立を提言する(2016年のニューヨーク宣言を受けた東京宣言採択)。

(注釈)

GCR=Global Compact on Refugees (難民に関するグローバルコンパクト)

GCM=Global Compact on Migration (移住に関するグローバルコンパクト)

UNDP=United Nations Development Programme (国際連合開発計画)

HDR=Human Development Report(人間開発計画)

HS=Human Security(人間の安全保障)

SDGs=Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)

IDP=Internally Displaced Persons(国内避難民)



プログラム構成概要

	第1日 2019/11/16				第2日 2019/11/17		
	午前	午後Ⅰ	午後Ⅱ		午前	午後Ⅰ	午後Ⅱ
JASID	通常セッション 午前の部	プレナリー 基調講演+ パネルⅠ 難民移民と教育	総 会	懇 親 会	通常セッション 午前の部	パネルⅡ 難民移民と 就労・雇用	通常セッション 午後の部 Ⅱ
JAHSS					通常セッション 午前の部		通常セッション 午後の部 Ⅱ
両学会	サイド・イベント、ポスターセッション(コアタイムあり)等						

講演者一覧) 予定

PlanA	PlanB	講演項目	氏名(敬称略)	所属
基調講演	教育パネル 第1日午後 基調講演 懇親会	基調講演Ⅰ	ジオフリー・ギルバート	英国 エセックス大学
		基調講演Ⅱ	滝澤 三郎	元 UNHCR 駐日代表
		基調講演Ⅲ	シンディー・ホースト	REBuild 研究代表
		講演者	上智大・小松 太郎、 ICU・新垣 修	難民教育関係
パネル	難民と就労 企画セッション 第2日午後	難民講演者	Kyaw Kyaw Soe	在日ミャンマー難民
		難民講演者	Jafar Atayee	在日アフガニスタン難民
		難民講演者	Seme Nelson Lomole	在日南スーダン難民
		難民講演者	Zaw Minh Htut	在日ロヒンギャ(ミャンマー)難民
パネルⅡ		招待講演者	Jacqueline Andall	東京大学
		招待講演者	Ellen Hansen	UNHCR
		招待講演者	Naoko Hashimoto	英国 サセックス大学
		招待講演者	ジオフリー・ギルバート	英国 エセックス大学
パネルⅢ	企画セッション	招待講演者	Julie Maupin	CIGI
		招待講演者	Muhammad Noor	Rohingya Project
		招待講演者	山本 芳幸	UN
		招待講演者	鎗目 雅	香港大学

※プログラムは変更になる場合がございます

イベント出展・広告掲載のご案内

イベント出展・広告掲載の各コースをご用意いたしました。

1. イベント出展
2. 研究要旨集への広告掲載
3. ウェブサイトへの広告掲載

この機会にぜひご検討いただけますようお願い申し上げます。

1. イベント出展のご案内

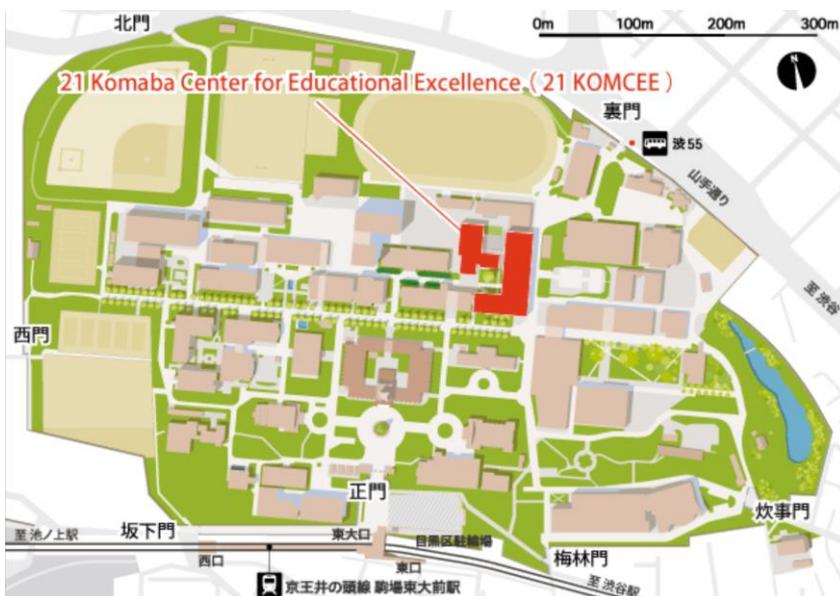
1. イベント出展（1）

イベント当日に会場でブースを設置するプランです

・会場：東京大学 駒場 I キャンパス 21KOMCEE

正式名称：21 Komaba Center for Educational Excellence

学びやすさと環境に配慮したキャンパス施設として、WestとEastの二棟からなる教育棟です。



〒153-0041
東京都目黒区駒場3丁目8-1

最寄り駅
京王井の頭線駒場東大前駅

1. イベント出展（2）

屋内または屋外を選択できるプランです

屋内イベントスペース

21KOMCEE

MMホール



屋外イベントスペース

21KOMCEE

テラススペース 他



イベントスペース
配置イメージ図



※イベント出展者向け
説明会にて当日の会場を
ご案内いたします。

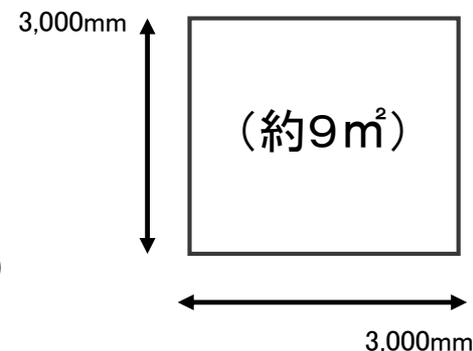
※出展者数と展示内容に
よりレイアウトや場所が
変更になる場合もございます。

1. イベント出展（3）

ブーススペースについて

屋内イベントスペース 3,000mm × 3,000mm (約9m²)

屋外イベントスペース 3,000mm × 3,000mm (約9m²)



■標準装備 長机×1台 折りたたみいす×2脚（1スペースあたり）

■電源はコンセントスペース(100V交流)を設けますが、
出展場所によっては延長コードが必要です

■その他テント等の備品はございませんので、各自でご用意をお願い致します。

■会場内は火器の使用は禁止です。

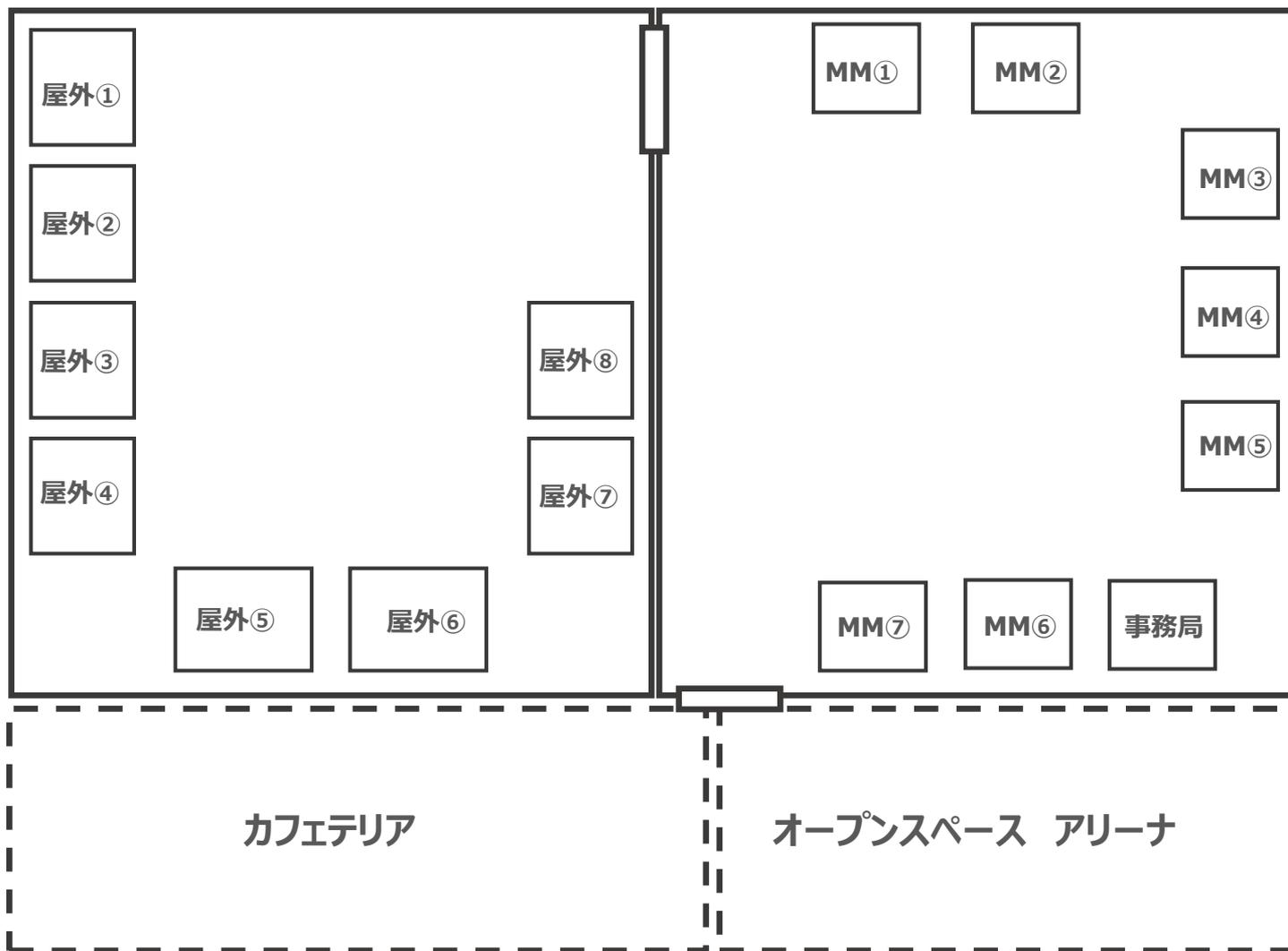
※各社ブースの位置は出展者説明会にてご連絡いたします

1. イベント出展（4）

イベントスペースは屋外・屋内共に設置（申込先着順）

テラス

MMホール



1. イベント出展（5）

出展までのスケジュール



出展開始および終了時刻

出展開始時刻 午前9時 （両日共通）
出展終了時刻 午後5時 （両日共通）

搬入／搬出について

出展者説明会で詳細手順をご説明いたします

※当日の搬入は東京大学駒場校舎正門にて守衛の受付を済ませてから搬入車両の入校をお願い致します。搬入および搬出後は速やかに出校をお願い致します。

※出展者説明会の会場は東京大学駒場キャンパスの予定です

※火器の使用などイベントでの禁止事項を行った場合や、来場者および他出展者に影響があると事務局が判断した場合には出展を中止させていただく場合がございます。

1. イベント出展（6）

イベント出展料金

出展料 200,000円（税抜） / 1小間（約9 m²）

2019年11月16日（土） / 11月17日（日） 2日間料金

※消費税に関しましては、申込時の消費税率を適用いたします

出展料に含まれないもの

- ①振込手数料 ②ブース装飾費用 ③搬出・搬入にかかる費用
- ④各ブースごとの電気工事費、電話回線・給排水などの付帯設備費 など

※イベント出展の審査に関しましては「スポンサー参加全般規定」をご確認ください

2. 研究要旨集への広告掲載（1）

媒体概要

国際開発学会 & 人間の安全保障学会 2019共催大会
 難民／移民と教育・就労—人間の安全保障の確保を目指して
 研究発表要旨集

(A 4版サイズ／約200P予定)
 (表紙カラー／本文 モノクロ)

配布予定部数 1,000部

当日会場に来場された大学等の高等教育機関の
 研究者や学生、実務経験者などに配布される冊子です。

広告メニュー

1 ページ広告 (モノクロ)



1 / 2 ページ広告 (モノクロ)



※イメージ

2. 研究要旨集への広告掲載（2）

研究要旨集 広告出展料金

- ① 1 ページ広告（モノクロ／A4） 200,000円（税抜）／1 枠
- ② 1／2 ページ広告（モノクロ／A4） 100,000円（税抜）／1 枠

広告掲載までのスケジュール

広告申込み締切

2019年
10月25日（金）

広告料支払期限

2019年
10月25日（金）

広告原稿入稿期限

2019年
10月30日（木）

会場にて配布

2019年
11月16日（土）
11月17日（日）

2. 研究要旨集への広告掲載（3）

原稿規定

① 1 ページ広告（モノクロ／A4）
縦**280mm** × 横**180mm**



① 1 / 2 ページ広告（モノクロ／A4）
縦**125mm** × 横**180mm**



※PDF入稿 350dpi以上

※広告のポジションおよびページ指定はお受けできません

※記事形式の広告は事前にご相談ください

※原稿制作をご依頼されます場合は別途お見積りいたします。

※広告の審査に関しましては「スポンサー参加全般規定」をご確認ください

3. ウェブサイトへの広告掲載



<https://www.jasidjahss2019.org>

3. ウェブサイトへの広告掲載（1）

媒体概要

国際開発学会 & 人間の安全保障学会 2019共催大会
難民／移民と教育／就労—人間の安全保障の確保を目指して
特設ウェブサイト

URL

<https://www.jasidjahss2019.org>

本大会の情報発信や参加申込に対応した特設サイトです。（日本語／英語）

学者や研究者、学生など本大会の参加者に加えて、大会に興味を持ったユーザーに告知できます。

※本大会特設ページのため、想定PV情報はありません。

※掲載終了予定は大会終了
約1週間後の2019年11月22日（金）です。



3. ウェブサイトへの広告掲載（2）

特設ウェブサイト広告料金



・原稿サイズ

特設ウェブサイト バナー広告

100,000円（税抜）／1枠（60日間）

160ピクセル（横）
×
120ピクセル（縦）

広告掲載までのスケジュール

広告申込み締切

2019年
10月25日（金）

広告料支払期限

掲載開始14日
前まで

広告原稿入稿期限

掲載開始10日
前まで

※広告の審査に関しましては「スポンサー参加全般規定」をご確認ください

※本広告は60日間の掲載料金のみご提示しています。60日を超えての掲載や60日未満の掲載は別途お見積りいたします。

※掲載結果レポート（クリック数）は掲載終了後約7営業日後を目途にご連絡いたします。

スポンサー参加全般規定（イベント出展／広告）

- ・ 次の事項に該当する場合はスポンサーとしてご参画いただけません
- ・ 広告表現等に関しましての審査もいたします

1. 責任の所在が判明しないもの
2. 関連する法規に違反するもの、またはその恐れがあるもの
3. 政治上の主義主張の表明や宗教の教義を広める目的に関するもの
4. プライバシーおよび個人情報侵害のおそれがあるもの
5. 人権を侵害するおそれがあるもの
6. 非科学的で迷信に関することや不安を強く与えるおそれがあるもの
7. 詐欺的なもの
8. セクシャルハラスメントのおそれがあるもの
9. 信用の毀損や業務妨害のおそれがあるもの
10. 社会秩序を乱すおそれがあるもの（暴力、残虐的な表現など不快感を与えるものを含む）
11. 学会の開催施設提供者である東京大学の評価を低下させるおそれがあるもの（誹謗中傷など）
12. その他学会の開催施設提供者である東京大学およびイベント実行委員会が不適當と判断したもの

※ 媒体資料の内容は予告なく変更する場合がございます。

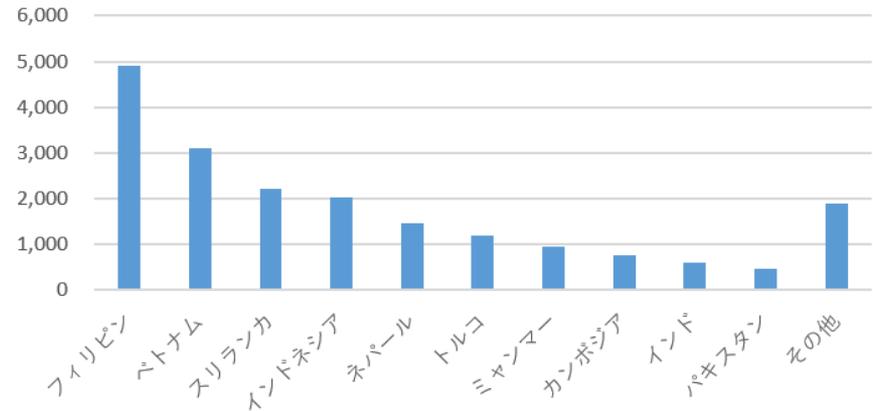
参考データ

平成29年における難民認定者数等について (速報値)／法務省 報道発表資料

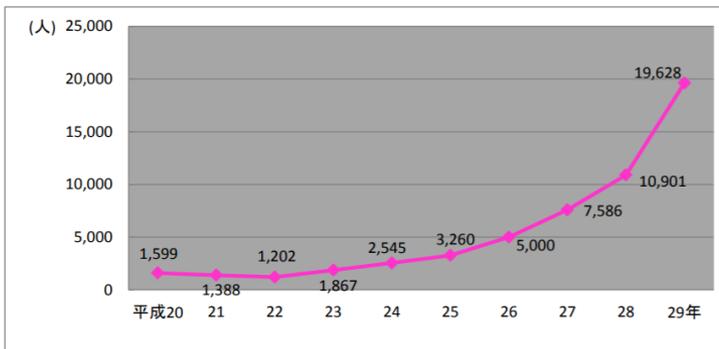
難民認定申請数は19,628人で、前年に比べ8,727人増加し、過去最多

申請者の国籍(82か国)

フィリピン 4,895人 ベトナム 3,116人
スリランカ 2,226人 インドネシア 2,038人
ネパール 1,450人、トルコ 1,195人 ミャンマー 962人
カンボジア 772人 インド 601人 パキスタン 469人
その他 1,904人



難民認定申請数の推移



難民認定者数の推移



問い合わせ先／広告原稿入稿先

お問い合わせ／広告原稿入稿 共通メールアドレス

info@culturade.com



カルチュレード株式会社

www.culturade.com

〒108-0071 東京都港区白金台5-2-5 トランドゥ白金台307

TEL. 03-6277-1971 / FAX. 03-6701-7510

担当：立原大輔／永井さやか

お問い合わせ： info@culturade.com